

令和2年度 宮城県工業高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点			わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす			
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	○	数学	○	○	○	理科	○	○	○
	基礎学力を定着させ、国語による理解力や表現力の育成を図る。また豊かな言語感覚を養い、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う力を育成する。			基礎的・基本的事項を定着させ、人間としての在り方や生き方を考えさせる。また異文化の理解を図るとともに、我が国の文化と伝統について理解を深め、主権者教育、国際理解教育を進める。			広い視野に立って、複雑な現代社会について主体的に考察させ、理解を深めさせる。また、他者を尊敬し社会に貢献しようとする公民的資質(シチズンシップ)を育成する。			基礎学力の定着と数学的思考能力の向上を目指し、数学的根拠に基づいて判断する力と問題解決能力を育てる。またそれらを生活に生かす実践的態度を育成する。			生徒一人ひとりの基礎学力の定着と向上を図る。また、目的意識をもって観察・実験に臨み、他者と協調しながら科学的に探究する能力や結果・考察を他者に伝えるコミュニケーション能力を育成する。							
保健体育	○	○	○	芸術	○	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	○	工業	○	○	○	
	運動実践を通して、健康・安全の知識を身に付け、生涯にわたって明るく豊かで活力ある生活を育む態度を育てる。			他者の表現に関心を持ち、その個性を尊重する心の育成を図る。また日本の伝統文化を理解し、芸術文化の愛着と他国文化を尊重する態度を育成する。			他者や外国の文化を尊重し、外国語を情報や考えを適切に伝えるコミュニケーションの手段として活用する能力及び姿勢を育成する。			社会と家庭とのかかわりについて理解し、基本的な知識・技術を習得させ、男女が協力して社会を築いていけるような実践的な態度を育成する。			産業の発展に貢献できる基礎的・基本的な知識と技術の育成を図るとともに、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)教育の徹底により、実験や実習時に安全を心がける態度や協調性を養う。また科学的な探求心を持ち創意工夫する態度や工業技術における諸問題を倫理観をもって解決しようとする態度を育成する。							
学年共通						わかる	もどめる	はたす	各学年指導目標											
指導内容	① ベル着の励行(スケジュール管理)	○	○	◎	1年	○基本的な生活習慣を確実に身に付け、適切に自己管理ができるようにするとともに、学習習慣を定着を図る。 ○明確な進路目標をもち、学校行事等の特別活動に主体的に取り組み、社会貢献に向けた姿勢・態度を育む。 ○工業高校生としての自覚をもたせ、将来の進路選択やその実現に向けた取組についての理解を深めさせるとともに、自己の進路を主体的に考える力を育む。														
	② 身だしなみ(制服等の正しい着こなし、TPO)	○	○	◎																
	③ 挨拶の励行(豊かなコミュニケーション)	◎	○	○	2年	○中堅学年としての自覚をもたせ、学校生活に対する意識高揚を図るとともに基本的な生活習慣の定着を図る。 ○心身の健全育成を図り、特別活動や校外の行事への積極的な参加を図る。 ○卒業後の進路目標や社会人としての在り方・生き方を明確にさせ、その実現に向けた支援・指導の充実を図る。														
	④ 清掃活動の徹底(整理整頓、安全管理)	○	○	◎																
	⑤ 課題(レポート等)の提出(自己管理・学習習慣の確立)	○	○	◎	3年	○最上級生として責任のある行動がとれるようにするとともに、有意義で活力のある学校生活を送ることができるよう指導する。 ○卒業後の進路目標や社会人としての在り方・生き方を明確にさせ、その実現に向けた支援・指導の充実を図る。 ○自己の適性や能力の理解を深めさせ、卒業後の進路実現に向けて粘り強く努力する姿勢・態度を育む。														
	⑥ 真摯な態度(誠実な人柄・節度ある行動)	◎	○	○																
指導内容		ねらい																		
共通	生徒総会(対面式等)	生徒会の一員として学校生活における課題について考え、よりよい学校づくりに主体的に参画する姿勢・態度をもたせる。			特別活動	5・12月	2	○	○	◎										
	運動会・球技大会	各種競技への参加・運営等を通して、自己の役割を遂行し、連帯感や協調性を育む。			特別活動	4・8月	24	◎	○	◎										
	文化祭(宮工祭)	各学科の学習成果や文化部を主とした活動発表を通して、文化や芸術に親しむ姿勢をもたせるとともに、各種団体の活動の企画・運営にあたることで主体性を育む。			特別活動	10月	12	◎	○	◎										
	生活安全等に係る講話(薬物・交通・サイバー犯罪・保健)	各種講話を通して、社会人として求められるマナーやモラルを身に付けさせるとともに、規範意識の醸成を図る。			特別活動	年間計画	4	○	○	◎										
	「みやぎクラフトマン21」における各種学習	企業技術者等の実践指導を通して、技術の習得と望ましい職業観・勤労観を身に付けさせる。			工業科実習等	年間計画	15	◎	◎	◎										
	工場見学	各企業のものづくりの現場見学を通して、進路意識の向上を図るとともに、学習内容とのつながりについて考える姿勢・態度を育む。			工業科実習等	年間計画	6	○	○	◎										
	個別面談(キャリアカウンセリング) ※ 保護者面談	学校生活に意欲的に取り組んだり、明確な進路目標をもたせたりするために、家庭との連携の下、個別の支援・指導の充実を図る。			その他	7月	◎	◎	◎											
1年	HRオリエンテーション	学校組織やきまり、生活の心得等の理解を深め、学校生活への適応を図るための支援・指導の充実を図る。			特別活動	4月	16	◎	○	◎										
	進路希望調査	卒業後の具体的な進路目標を主体的に考えることを通じて、進路意識の高揚を図る。			特別活動	4月・10月	1	○	○	◎										
	進路講話	自己理解を深めながら、卒業後の進路について主体的に考え、進路実現に向けた具体的な取組を進められるような支援・指導を行う。			特別活動	3月	1	○	○	◎										
2年	進路希望調査	卒業後の具体的な進路目標を主体的に考えることを通じて、進路意識の高揚を図る。			特別活動	4月・10月	1	◎	○	◎										
	選択教科説明会	将来の進路設計に見合った適切な教科選択ができるよう支援・指導を行う。			特別活動	5月	1	○	◎	◎										
	進路適性検査	検査結果を踏まえて自己理解をより一層深め、進路や社会人としての生き方あり方を探索する姿勢をもたせる。			特別活動	5月	2	○	○	◎										
	校外HR	集団生活を通して、規律、協調性等の育成を図る。			特別活動	12月	24	◎	◎	◎										
	3年生の進路を聞く会	進路に対する考えを深めさせ、進路目標設定の参考にさせる。			特別活動	1月	1	○	○	◎										
	キャリアセミナー	自己理解を深め、進路先を意識させ将来像を持てるような場を提供する。			特別活動	3月	1	○	○	◎										
	進路別合同説明会	職業について深く考えさせ、職業観・勤労観に情勢の一助とするとともに、企業で活躍することの意義を理解し職業人としての意識を高める。			特別活動	3月	4	○	○	◎										
3年	インターンシップ	職場体験を通して各種企業の具体的な業務内容を知るとともに、社会人として求められるマナーを身に付け、望ましい勤労観・職業観をもたせる。			その他	年間計画	24	◎	◎	◎										
	進路希望調査	卒業後の具体的な進路目標を主体的に考えさせるとともに、進路実現に向けた具体的な活動計画を考えさせる。			特別活動	4月	1	◎	○	◎										
	進路適性検査	検査結果を踏まえて自己理解をより一層深め、進路や社会人としての生き方あり方を探索する姿勢をもたせる。			特別活動	5・7月	3	○	○	◎										
	進路別説明会	希望別に進路実現に向けた具体的な内容等について学び、主体的・実践的な態度を身に付けさせる。			特別活動	5月	1	○	○	◎										
	進路別ゼミ(進学ゼミ・就職ゼミ)	面接や実演、演習問題等への取組を通して、進路実現に向けた実践力を身に付けさせる。			その他	6・7・8月	30	◎	◎	◎										
	オープンキャンパス・企業見学	希望する上級学校や企業等を訪問し、進路目標の最終的な決定に結び付ける一助とする。			その他	6・7・8月	6	○	◎	◎										
同窓会長講話	本校の歴史・伝統等について学ぶことを通して、愛校心を培い、同窓生としての在り方生き方について考える姿勢・態度身に付けさせる。			特別活動	9月	1	◎	○	◎											
						合計時数	181													